

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年2月8日

事業所名 児童発達支援施設 さくらの樹

保護者等数(児童数) 19(20) 回収数 15 割合79%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15				・広くてきれいな部屋で安心です。 ・活動しやすいスペースが十分あります。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13			1		運営規定及び重要事項説明書、スタッフの勤務形態一覧表(月単位)を掲示しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14			1	バリアフリーになっているしトイレも使いやすい設備だと思います。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15				清潔で室内も広く明るく心地良く過ごせる環境だと思う。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15				・毎日色々なプログラムがあり色々な事を学ぶ機会があります。 ・日々異なる活動内容となっておりたくさんの方の事を経験させていただいています。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13			1	・保育園と連携しているので障がいのない子どもさんとの交流ができるので良い。 ・保育園のイベント等に参加させてもらう事ができている。	同法人が運営する保育所と交流や活動に取り組んでいます。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14			1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	2	1	4		個別に適宜行っております。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14				連絡帳にその日の様子と写真が貼ってありお迎えの際も話をさせていただきます。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	2	2		困っている事など相談しやすい、話しやすい。	個別に適宜行っております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	6	5	・なかなか周りにディに行っている人がいないので親同士の交流が欲しいです。 ・コロナの影響があるのか集まりは有りませんがお迎えの際など他の保護者の方とも話したりしています。	ご要望に応じて検討いたします。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12			2	要望や相談事を迅速に対応して下さるので大変ありがたいです。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1			利用の度にその日の様子を伝えてくださいます。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	1		2	1日の様子を先生が連絡ノートに記入してくださり写真も撮ってくださるので本人の活動の様子がとても分かり安心して通わせることができる。	
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	2		1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	2		7	訓練があるのかわからない。	周知していきたいと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		9	訓練があるのかわからない。	月1回行っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	15				・とても喜んでいきます。本人から伝わってきます。 ・朝、不安な日もありますが帰ってくると楽しかったとその日の事をたくさん話してくれる。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	1			とても成長を感じている。満足しています。	

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 2 月 8 日

事業所名 児童発達支援施設 さくらの樹

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	☐		基準以上の広さを確保しております。	
	2 職員の配置数は適切である	☐			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	☐			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	☐		お部屋トイレ等保育所と同様な設備になっております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	☐			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	☐			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	☐			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		☐		第三者評価は行っておりません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	☐			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	☐			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	☐			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	☐			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	☐			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	☐			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	☐		色々なプログラムを行っております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	☐			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	☐			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	☐			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	☐			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	☐			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	〈医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合〉地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	〈医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合〉子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		同法人が運営する保育所と交流や活動を行っております。	
	29	〈自立支援〉協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		個別に適宜行っております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご要望に応じて検討いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。